

CBA

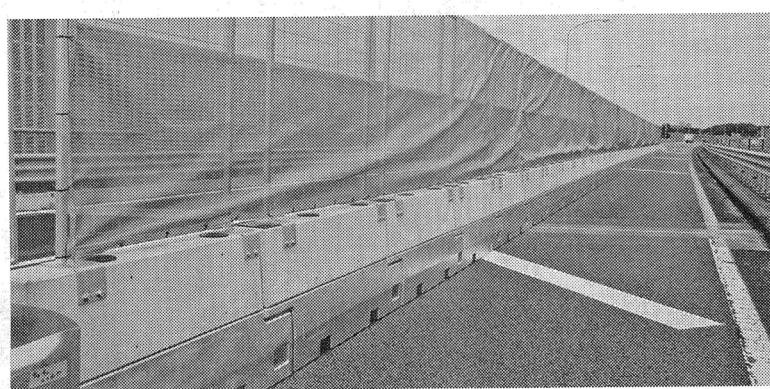
JIS改正方針を解説

車線幅減少に伴う規制速度低下を抑制
見直し、昨年立ち上げた
コンプライアンス幹事会
の配下に全充填型プロツ

22年度は委員会体制を
確立し、今年立ち上げた
JIS改正方針を解説する
見直し、昨年立ち上げた
コンプライアンス幹事会
の配下に全充填型プロツ

ハイブリッドスリムガードは350ミリの製品幅を実現したSB種対応の置き式仮設防護柵。車線規制時の暫定車線において、車線幅の減少に伴う規制速度の低下を抑制し、施工期間中における供用車線部の交通への影

見直し、昨年立ち上げた
コンプライアンス幹事会
の配下に全充填型プロツ



ハイブリッドスリムガードは350ミリの製品幅を実現したSB種対応の置き式仮設防護柵。車線規制時の暫定車線において、車線幅の減少に伴う規制速度の低下を抑制し、施工期間中における供用車線部の交通への影

も、製品幅を350ミリに抑えることで、車線幅を確保しながら工事を進めることができる。同製品の普及を図ることで、今後、ピークを迎える高速道路の大規模更新をはじめとした都市圏などの高難度工事の円滑な遂行に貢献する方針だ。

ケイコン（京都府京都市、荒川崇社長）とオレンタル白石（東京都江東区、大野達也社長）、西日本高速道路（大阪府大阪市、前川秀和社長）はこのほど、プレキャストコンクリート製品と鍛鉄部材を組み合わせた車両用仮設防護柵「ハイブリッドスリムガード」を開発した。

高速道路に設置が可能なSB種に対応すると

ハイブリッドスリムガードは350ミリの製品幅を実現したSB種対応の置き式仮設防護柵。車線規制時の暫定車線において、車線幅の減少に伴う規制速度の低下を抑制し、施工期間中における供用車線部の交通への影

製品幅350ミリでSB種対応 ハイブリッド仮設防護柵を共同開発

ケイコン・オリエンタル白石・NEXCO西日本

ケイコン（京都府京都市、荒川崇社長）とオレンタル白石（東京都江東区、大野達也社長）、西日本高速道路（大阪府大阪市、前川秀和社長）はこのほど、プレキャストコンクリート製品と鍛鉄部材を組み合わせた車両用仮設防護柵「ハイブリッドスリムガード」を開発した。

高速道路の大規模更新事業では、上下線4車線を対面2車線として施工する事例が多いが、交通量の多い都市圏内で新事業の場合、渋滞などを緩和するため施工期間中でも上下線4車線を確保するため施工期間中でも上

回路の確保が困難な場合でも4車線の確保が可能となる。また、従来、拡幅や迂回路の確保により行っていた工事においても事前工事の削減や施

工期間中の断面交通量の確保ができることから、全体事業費の削減や社会的影響の最小化につながる。

国交省「粘り強い河川堤防」開発へ

国土交通省は5月20日、「河川堤防の強化に関する技術検討会（座長・山田正中央大学研究開発機構教授）」の初会合を開いた。越水に対する技術

にあたっては、要求性能や公募条件を提示したうえで民間企業などの技術を公募する予定であり、今後、第三者機関である

「コロナ禍で多くの団体が『閉店休業』状態となつたが、当工業会はリモートによる各種会合や講習会の開催を継続できた」と話すのは全国建築コンクリートブロック工業会の柳澤佳雄会長。5月27日の定期会議で、開催された検討会の報告書では、洪水時の河川水位を下げる対策を今後も治水対策の大原則として、緊急的・短期的な取り組みとして河川堤防を越水した場合であっても、決壊しにくく、堤防が決壊するまでの時間を少しでも長くするなどの減災効果を發揮する粘り強い構造の河川堤防の整備を危機管理対応として実施すべきとしている。

一方で、粘り強い河川堤防は越水した場合の効果や幅に不確実性があることなどから、必要となる性能の具体化や構造物の安定性を長期的に維持

・移動が可能となつており、設置や撤去が容易に行える。

すでに西日本高速道路

発注の「松島高架橋他9

橋梁更新工事」（和歌山

県和歌山市）や中日本高

速道路発注の「多摩川橋

床版取替工事」（東京都日

野市）で採用されており、ケイコンとオリエンタル白石は同製品に適した幅広い工事での採用に向けて積極的に販売に取り組んでいく。

高速道路の大規模更新

事業では、上下線4車線

を対面2車線として施工

区間の施工マードを確保

する事例が多いが、交通

量の多い都市圏内で更

なる社会的影響を最小化す

るために施工期間中でも上

下線4車線を確保するこ

とが求められる。4車線

を確保するためには、仮

設車両用防護柵などで一

般供用車線と工事範囲を

車両幅員方向に分割して

施工する必要があるが、

従来の置き式車両用防護

柵の製品幅は5500ミ

リメートルで、4車線分の

車線幅確保が難しくなる

ケースがあつた。

ハイブリッドスリムガ

ードを使用することで、

橋梁構造上や用地関係な

どで拡幅できない場合や

迂回路の確保が困難な場

合でも4車線の確保が可

能となる。また、従来、

拡幅や迂回路の確保によ

り行っていた工事におい

ても事前工事の削減や施

工期間中の断面交通量の

確保ができることから、

全体事業費の削減や社会

的影響の最小化につな

がる。

「高速道路の大規模更新を継続できる」と話すのは全国建築コンクリートブロック工業会の柳澤佳雄会長。5月27日の定期会議で、開催された検討会の報告書では、洪水時の河川水位を下げる対策を今後も治水対策の大原則として、緊急的・短期的な取り組みとして河川堤防を越水した場合であっても、決壊しにくく、堤防が決壊するまでの時間を少しでも長くするなどの減災効果を發揮する粘り強い構造の河川堤防の整備を危機管理対応として実施すべきとしている。

一方で、粘り強い河川堤防は越水した場合の効果や幅に不確実性があることなどから、必要となる性能の具体化や構造物の安定性を長期的に維持



Akiyoshi Yamazaki
会長

「コロナ禍で多くの団体が『閉店休業』状態となつたが、当工業会はリモートによる各種会合や講習会の開催を継続できた」と話すのは全国建築コンクリートブロック工業会の柳澤佳雄会長。5月27日の定期会議で、開催された検討会の報告書では、洪水時の河川水位を下げる対策を今後も治水対策の大原則として、緊急的・短期的な取り組みとして河川堤防を越水した場合であっても、決壊しにくく、堤防が決壊するまでの時間を少しでも長くするなどの減災効果を発揮する粘り強い構造の河川堤防の整備を危機管理対応として実施すべきとしている。

一次製品談話室

「コロナ禍で多くの団体が『閉店休業』状態となつたが、当工業会はリモートによる各種会合や講習会の開

催、関連団体への協

力、機関誌を通じて情

報発信など活発な活動

を行つたが、当工業会はリモートによる各

種会合や講習会の開

緩やかな